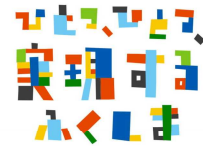


# 主要な農作物の生育情報

令和4年度 第7号

(令和4年10月7日)

福島県農林水産部農業振興課



## 【作物】

### 1 水稲

登熟日数は、9月の好天により平年並から数日短くなりました。成熟期は、本部（郡山市）のひとめぼれは2日、天のつぶは4日遅く、コシヒカリは平年並となりました。会津地域研究所（会津坂下町）のひとめぼれと天のつぶは平年並、浜地域研究所（相馬市）のひとめぼれは平年並、天のつぶは3日、コシヒカリは4日早くなりました。

県内の刈取始期（5%）は9月27日（平年9月26日）で、収穫作業は平年並に進んでいます。

表1 水稲主要品種の成熟期と登熟日数（農業総合センター）

調査場所	品種	移植期 (月日)	成熟期			登熟日数		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (日)	平年 (日)	平年差 (日)
本部	ひとめぼれ	5.16	9.17	9.15	2	42	43	-1
	天のつぶ	5.16	9.20	9.16	4	43	43	±0
	コシヒカリ	5.16	9.25	9.26	-1	43	47	-4
会津地域 研究所	ひとめぼれ	5.19	9.12	9.12	±0	42	45	-3
	天のつぶ	5.19	9.15	9.14	1	43	45	-2
浜地域 研究所	ひとめぼれ	5.10	9.15	9.14	1	45	45	±0
	天のつぶ	5.10	9.20	9.23	-3	48	52	-4
	コシヒカリ	5.10	9.24	9.28	-4	45	50	-5

注) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市。

## 【野菜】

### 1 秋ブロッコリー

県南と相双地方では、定植は降雨により遅れたものの9月上中旬までに終了し、定植後の生育は順調です。病害虫は、一部でヨトウムシ類が発生しています。

### 2 秋冬ニラ

株の養成期間中に気温や日照が確保され、株の充実が進み、12月の収穫開始を見込んでいます。病害虫は、一部でさび病が発生しています。

### 3 いちご

普通育苗の花芽分化は平年並の9月中旬でした。定植は9月中旬におおむね終了し、定植後の生育は順調です。病害虫は、一部で炭そ病が発生しています。

### 4 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型は現在14~15段を収穫中で、南会津地方の5月下旬定植の作型は、6~8段を収穫中です。気温の低下により着色が緩慢になっています。摘芯作業は9月上中旬に終了しています。病害虫は、灰色かび病、うどんこ病、コナジラミ類、ヨトウムシ類が発生しています。

## 【果 樹】（10月3日現在：農業総合センター果樹研究所）

### 1 なし

#### (1) 収穫期と果実品質

「豊水」の収穫盛期は9月15日で平年より2日早くなりました。果実の大きさは513gで平年よりかなり大きく、糖度は12.6° Brixで平年並でした。

「あきづき」の収穫盛期は9月26日で平年より2日早くなりました。果実の大きさは549gで平年より大きく、糖度は12.8° Brixで平年並でした。

#### (2) 果実成熟

「ラ・フランス」の満開後166日における成熟調査では、果実硬度が13.3ポンドで平年よりかなり高く、デンプン指数が3.8で平年より高く、糖度が13.2° Brixと平年並の状況です。

※デンプン指数：指数1～5で評価し、数値が高いほどデンプンの消失が進んでいます。

### 2 りんご

#### (1) 果実肥大

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が86.2mmで平年比108%、横径が90.0mmで平年比104%で平年よりやや大きい状況です。満開後日数の体積指数による比較では平年よりも大きくなっています。

#### (2) 果実成熟

「ふじ」の満開後157日（9月29日）における成熟調査では、果実硬度が12.3ポンドで平年よりかなり低く、デンプン指数は3.7で平年より高くなっています。果皮中クロロフィル含量及びアントシアニン含量はともに平年より低い状況です。

※りんごのデンプン指数：指数1～5で評価し、数値が高いほどデンプンの消失が進んでいます。

## 【花 き】

### 1 ストック

年内出荷の定植は、平年並の8月中旬から9月にかけて順次行われ、順調に生育しています。春彼岸出荷については、現在、育苗中であり順次作業が進んでいます。

### 2 キク類

9月咲きの収穫期は平年並で、9月中旬の需要期に出荷できました。また、10月咲きの生育は、平年並で順調です。病害虫は、一部でアザミウマ類やハダニ類の発生が見られています。

## 【飼料作物】

### 1 牧草

3番草は、9月上旬から収穫が行われています。地域によっては、イネ科雑草が繁茂しているほ場があり、収量は平年並からやや少ない状況です。

### 2 飼料用トウモロコシ

8月下旬から収穫が行われています。生育及び品質はともに良好で、収量は平年並です。

### 3 W C S用稲

8月下旬から収穫が行われています。収穫が終了した地域での収量は平年並です。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>